

社会資本総合整備計画
本庄新都心地区都市再生整備計画

平成24年3月27日

埼玉県本庄市

都市再生整備計画(第4回変更)

本庄新都心地区

埼玉県 本庄市

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	ほんじょうし 本庄市	地区名	ほんじょうしんとしんちく 本庄新都心地区	面積	154 ha					
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度					
					交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

目標
大目標：本庄地方拠点都市地域の中核をなす本庄新都心地区にふさわしい活気に満ちあふれた豊かな自然環境が共生するまちづくり
目標1 新たな息吹を感じさせるまちの魅力と活気の創出
目標2 原風景を次世代へ継承する緑と歴史の香り漂う良好な生活環境の創出
目標3 災害に強い安心して暮らせる住環境の創出

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ○当該地域概要
 当市は、東京から約80km圏、埼玉県の西北に位置する面積89.71km²、人口約8万3千人の都市で、平成18年1月10日に旧本庄市と旧児玉町が合併して新「本庄市」として誕生しました。JR高崎線、八高線、上越新幹線(本庄早稲田駅)などの鉄道や関越自動車道(本庄児玉インターチェンジ)・国道17号・254号・462号などの主要道が縦横に走り、東京と上信越方面を結ぶ交通の要衝となっています。
 ○地方拠点都市地域
 平成5年に当時の本庄市および児玉郡内の5町村に大里郡岡部町を加えた1市5町1村が「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律」に基づく本庄地方拠点都市地域に指定され、平成6年度には基本計画が県知事の承認を受け、広域の拠点として各種事業を展開しています。
 この基本計画で、本庄新都心地区は本庄地方拠点都市地域の拠点地区に位置づけられており、新幹線新駅の設置、早稲田リサーチパーク地区の整備及び土地区画整理事業により、本庄市のみならず本庄地方拠点都市地域の中核として経済、社会の発展が期待されているところです。
 ○本庄新都心開発事業
 平成15年3月、本庄新都心地区(154ha)は市街化区域への編入と同時に土地区画整理事業、用途地域及び道路の都市計画決定がなされ、一体的に整備を行うこととして計画を進めてきたところです。平成16年3月には上越新幹線本庄早稲田駅が開業しています。
 このような中、平成17年8月、本庄新都心地区は4つの地区に区分し、地域の特性にあわせて整備を推進することとなり、この4地区のうち早期の事業効果の発現が期待できる本庄早稲田駅周辺地区(都市機構施行・平成18年9月認可・平成25年度完了予定)が先行的にスタートすることとなりました。
 一方で、平成8年12月、地元権利者により「本庄新都心地区整備推進地権者協議会」が組織され、本庄新都心地区のまちづくりに向けた活動が熱心に展開され、まちづくり方針の検討や先進地区の視察、勉強会、権利者へのアンケート調査、情報提供等が行われてきました。平成17年11月には、4つに区分された各々の地区の特性や熟度に合わせて事業を推進していくため、地元権利者及び地元自治会の参加を得て、新たに4地区ごとの「まちづくり協議会」が発足し、まちづくり活動を展開しています。

課題
 本庄市の新しい玄関口であり、地域経済を牽引する核となる本庄新都心地区に相応しい顔づくりのため、迅速かつ集中的な都市整備が課題となっています。
 ・本庄早稲田駅開業後、3年経過することとなるが、駅前周辺は依然として田や畑が広がっている状況であり、先行することとなる本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業を早期に進める必要がある。
 ・一方で本地区には、周辺の山々への眺めや里山・田園風景、水辺、遺跡(埴輪窯跡)、庚申塚等の豊かな自然や歴史が残されており、これらの原風景と調和、融合した形での事業展開を図る必要がある。
 ・平成15年3月に本庄新都心地区全体を市街化区域に編入し4年経過することとなり、事業化に至っていない残りの3地区について無秩序な開発が進まないよう早期の合意形成を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)
 恵まれた地域資源を活用し、「職・住・遊・学」の機能を備えた自立的なまち、将来にわたり持続可能なまち
 ・平成13年度から平成17年度を計画期間とする合併前の旧本庄市の第3次総合振興計画後期基本計画では、本庄新都心地区を「本庄地方拠点都市地域の中核となる地区」と位置付け、「新幹線新駅によるゲート機能や関越自動車道をはじめとする広域的な交通利便性を活かし、業務を中心とした多様な都市機能の集積や新産業創出の受け皿として、また広域的、国際的な交流機会の増加に対応した都市の活力とにぎわいを創出するとともに個性とゆとりある住環境を整備する」ものとしている。(注：新本庄市の総合振興計画は現在策定中)
 ・平成15年～平成37年度を計画期間とする「本庄市都市計画マスタープラン(平成15年3月策定)」において、本庄新都心地区は「次世代の都市づくりのモデルとなる、ユニバーサルデザインや水辺、緑地空間の整備、創出など自然環境に配慮した人と環境にやさしい都市づくりを進める」ことが都市づくりの方針として掲げられている。

目標を定量化する指標

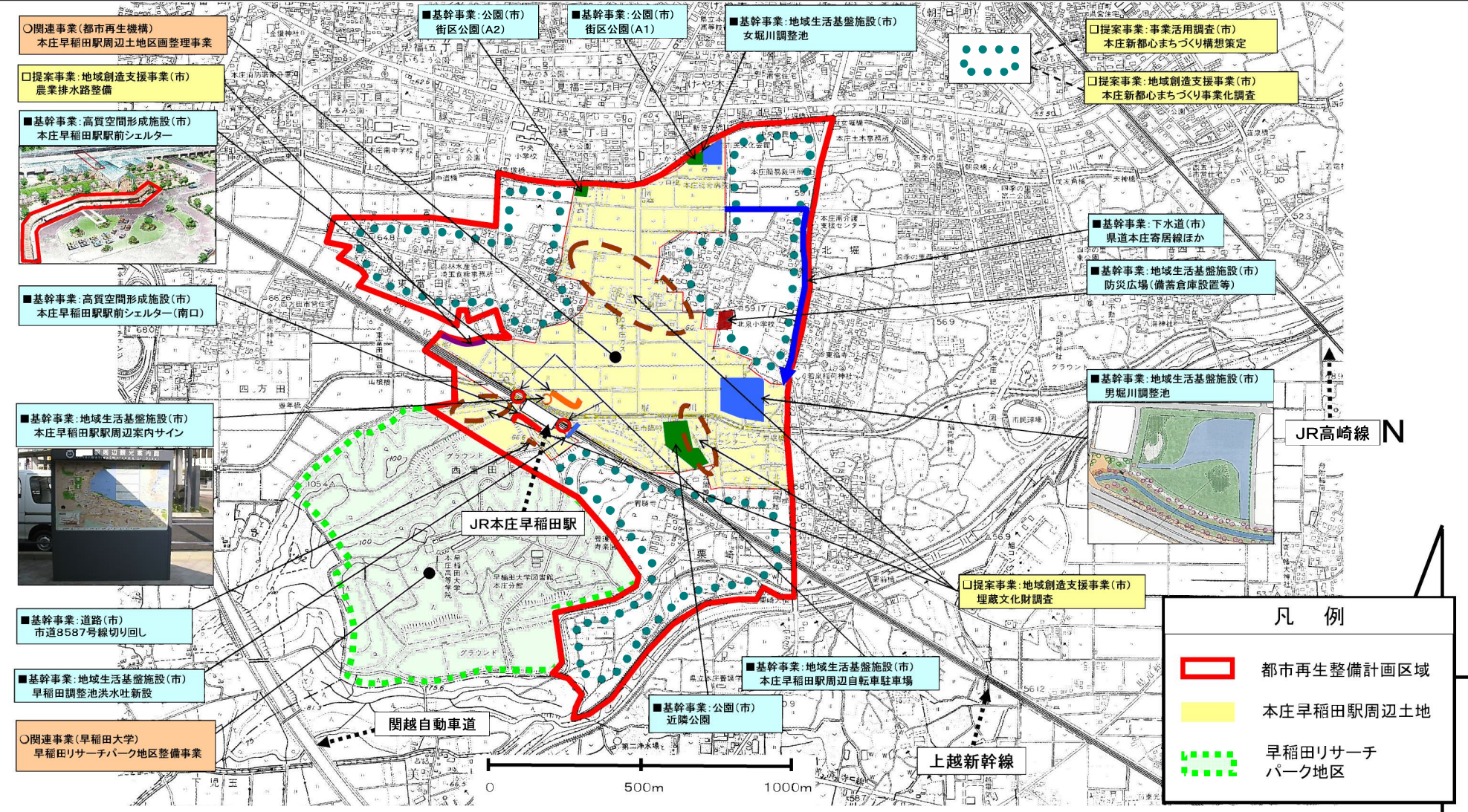
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1. 本庄早稲田駅乗降客数	人/日	本庄早稲田駅(上越新幹線)の1日あたり乗降客数(JR東日本による乗降客数)	まちづくりとともに本庄早稲田駅の快適性・利便性を高め、乗降客数の増加を図ることで、活気あるまちが創出される。	4,000	H18	4,800	H23
2. 地区内居住者数	人	本庄新都心地区内の居住者数(住民基本台帳)	計画的かつ段階的にまちづくりを進め、早期に人口定着を図ることで、賑わいのあるまちが創出される。	900	H18	1,000	H23
3. 公園等利用者の満足度	%	親水河川・親水調整池・公園・緑地の利用者の満足度(満足度アンケートによる)	居住者が身近に接することのできる水辺や公園、緑地等の緑の空間を整備することで、良好な生活環境を創出する。	0	H18	50	H23
4. 避難地の確保率	%	地区内避難地の面積/地区面積	防災広場、公園、緑地等の整備を進め、災害時の避難場所等を拡充することで、安心して暮らせる住環境を創出する。	3.8	H18	5.1	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(にぎわいと魅力あるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある駅前空間を創出するために、ユニバーサルデザインと防犯環境設計を取り入れた駅前広場の附帯施設整備を行う。 拠点地区としての計画的なまちづくりを進めるため土地区画整理事業を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業(関連事業/土地区画整理事業) ○高質空間形成施設(基幹事業/駅前シェルター整備) ○地域生活基盤施設(基幹事業/駅周辺案内サイン整備) ○公園(基幹事業/近隣公園、街区公園整備) ○下水道(基幹事業/県道本庄寄居線ほか整備) ○地域生活基盤施設(基幹事業/本庄早稲田駅周辺自転車駐車場)
<p>整備方針2(豊かな自然・歴史環境にふれあえるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 快適でうるおいのあるまちとするため、居住者が身近に接することができる水辺(常時水面を有し親水性を備えた調整池)や緑(公園)の空間を増加させる。 本地区のうち、事業化に至っていない本庄早稲田駅周辺地区以外の3地区について、豊かな自然・歴史環境と新たなまちとが調和・融合した形でのまちづくり構想を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園(基幹事業/近隣公園、街区公園整備) ○地域生活基盤施設(基幹事業/調整池整備) ○地域創造支援事業(提案事業/埋蔵文化財調査、農業排水路整備) ○事業活用調査(提案事業/本庄新都心まちづくり構想策定) ○地域創造支援事業(提案事業/本庄新都心まちづくり事業化調査)
<p>整備方針3(災害に強いまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基盤整備事業や防災調整池など災害を防ぐ施設の整備を行うとともに、災害時に備え備蓄倉庫など整備する防災広場の整備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域生活基盤施設(基幹事業/調整池、早稲田調整池洪水吐整備) ○本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業(関連事業/土地区画整理事業) ○地域生活基盤施設(基幹事業/防災広場整備) ○公園(基幹事業/近隣公園、街区公園整備)
<p>その他</p> <p>○交付期間中の計画の管理について</p> <p>交付期間中において各種事業を円滑に進め、目標に向けた効果をあげるため、関連事業であるが主となる基盤整備事業である本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業とのスケジュール管理を行うため、施行者である都市再生機構と埼玉県と本庄市の3者で設置する連絡調整会議で事業計画の管理を実施していく。</p>	

ほんじょうしんとしんちく ほんじょうし
本庄新都心地区(埼玉県本庄市) 整備方針概要図

目標	本庄地方拠点都市地域の中核をなす拠点地区にふさわしい新しいまちの活気と豊かな自然環境が共生するまちづくり	代表的な指標	本庄早稲田駅乗降客数 (人/日)	4,000	(18年度)	→	4,800	(23年度)
			地区内居住者数 (人)	900	(18年度)	→	1,000	(23年度)
			公園等利用者の満足度 (%)	0	(18年度)	→	50	(23年度)



○関連事業(都市再生機構)
 本庄早稲田駅周辺土地地区画整理事業

□提案事業:地域創造支援事業(市)
 農業排水路整備

■基幹事業:高質空間形成施設(市)
 本庄早稲田駅前シェルター

■基幹事業:高質空間形成施設(市)
 本庄早稲田駅前シェルター(南口)

■基幹事業:地域生活基盤施設(市)
 本庄早稲田駅周辺案内サイン

■基幹事業:道路(市)
 市道8587号線切り回し

■基幹事業:地域生活基盤施設(市)
 早稲田調整池洪水吐新設

○関連事業(早稲田大学)
 早稲田リサーチパーク地区整備事業

■基幹事業:公園(市)
 街区公園(A2)

■基幹事業:公園(市)
 街区公園(A1)

■基幹事業:地域生活基盤施設(市)
 女堀川調整池

□提案事業:事業活用調査(市)
 本庄新都心まちづくり構想策定

□提案事業:地域創造支援事業(市)
 本庄新都心まちづくり事業化調査

■基幹事業:下水道(市)
 県道本庄寄居線ほか

■基幹事業:地域生活基盤施設(市)
 防災広場(備蓄倉庫設置等)

■基幹事業:地域生活基盤施設(市)
 男堀川調整池

□提案事業:地域創造支援事業(市)
 埋蔵文化財調査

■基幹事業:地域生活基盤施設(市)
 本庄早稲田駅周辺自転車駐車場

■基幹事業:公園(市)
 近隣公園

凡例	
	都市再生整備計画区域
	本庄早稲田駅周辺土地
	早稲田リサーチパーク地区